

# 2011年3月期 事業総括及び 2012年3月期 事業展望について

---

2011年4月28日

住商情報システム株式会社

代表取締役会長兼社長 中井戸 信英

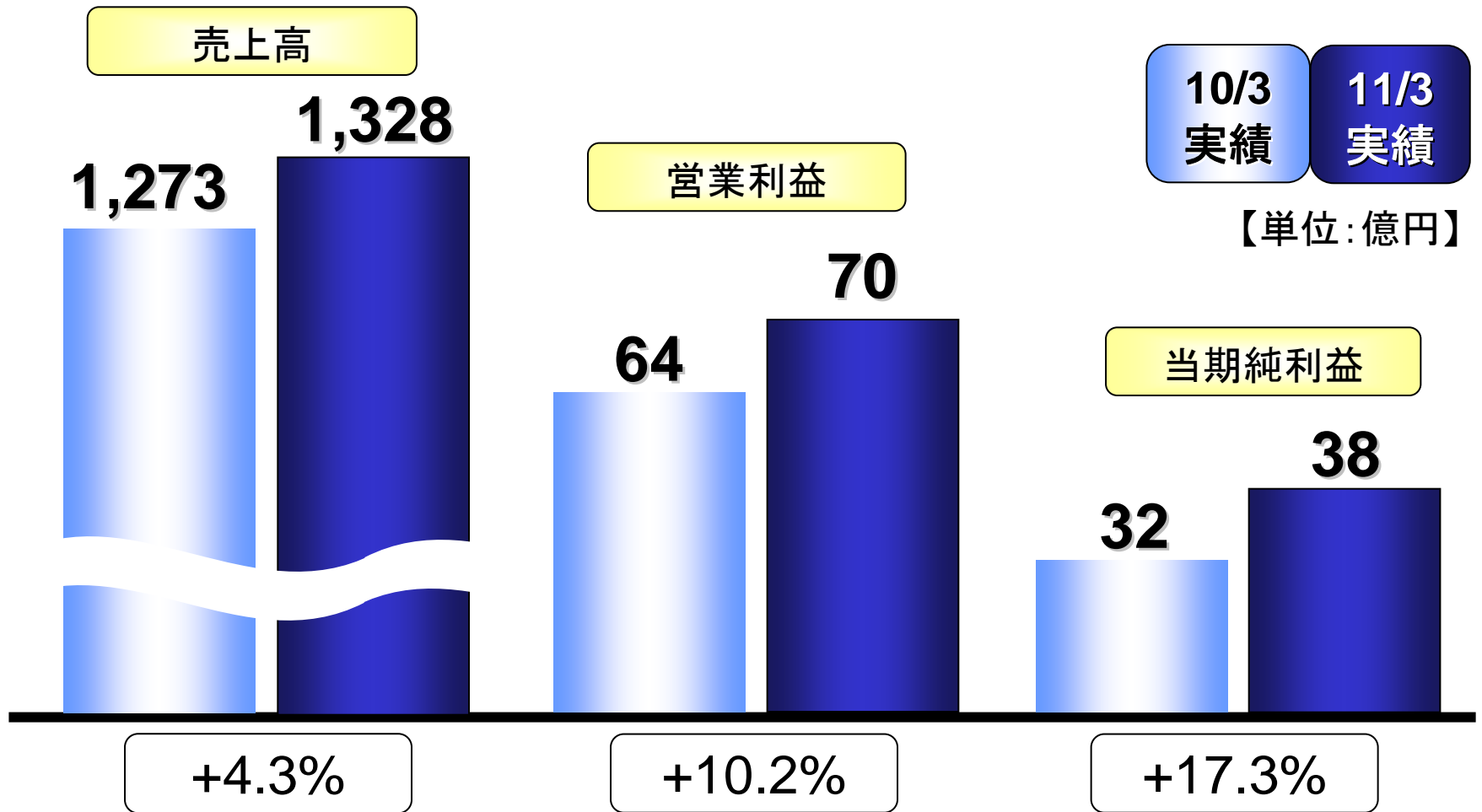


住商情報システム株式会社

Sumisho Computer Systems Corporation

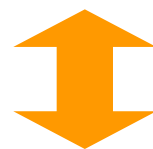
- はじめに
- 前年度総括
- 今年度事業環境
- 今年度事業戦略
- 業績予想
- CSKとの経営統合について

## 2011年3月期 連結業績



不透明な  
事業環境

➤業績の着地動向への影響は軽微



➤慎重かつ注意深い事業運営が必要

## ➤ グローバルビジネス推進

- ・全社タスクフォースの設置
- ・SAP関連組織の集約
- ・グローバル人材育成ファンドの創設

## ➤ アカウントプラン & ベンダープラン

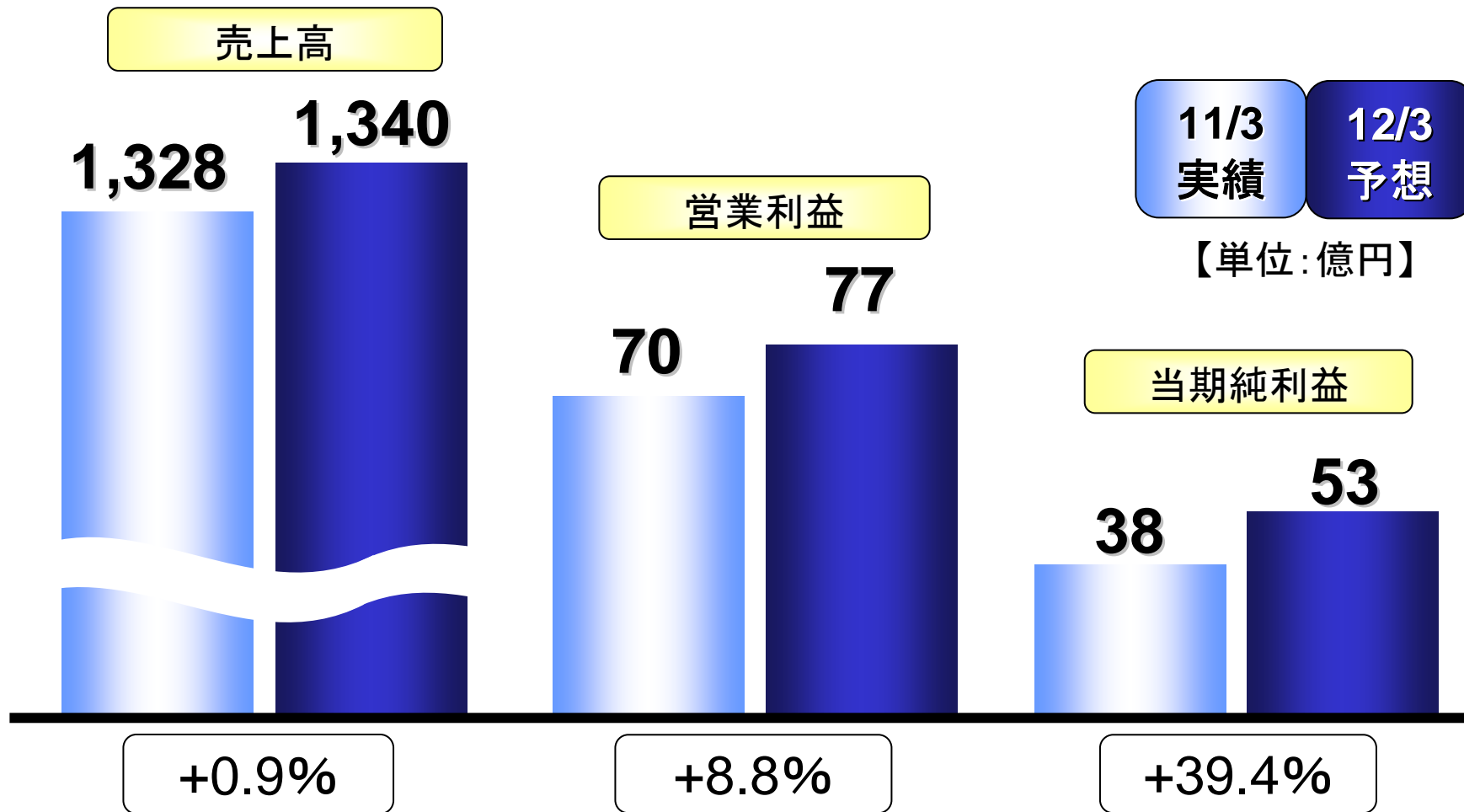
- ・主要取引先別担当要員の配置
- ・顧客満足度調査の実施

## ➤ クラウドビジネス推進

- ・クラウド時代の事業基盤拡大のためのデータセンター投資

# SCS 業績予想

## 2012年3月期 連結業績予想



# CSKとの経営統合について

---

# 2011年3月期業績及び 2012年3月期業績予想について

---

2011年4月28日

住商情報システム株式会社

取締役 常務執行役員 福永 哲弥



住商情報システム株式会社

Sumisho Computer Systems Corporation



【連結】

(単位:百万円)

	09年4月 ～ 10年3月	10年4月 ～ 11年3月	増減額	増減率
売上高	127,317	132,840	5,523	4.3%
売上総利益	29,176	29,048	△128	△0.4%
販管費	22,752	21,971	△780	△3.4%
営業利益	6,423	7,076	652	10.2%
経常利益	7,188	7,343	155	2.2%
当期純利益	3,242	3,803	561	17.3%

【連結】

(単位:百万円)

	10年1月 ～ 10年3月	11年1月 ～ 11年3月	増減額	増減率
売上高	36,134	39,250	3,116	8.6%
売上総利益	8,558	8,906	348	4.1%
販管費	5,319	5,431	112	2.1%
営業利益	3,238	3,475	236	7.3%
経常利益	3,248	3,545	296	9.1%
当期純利益	1,511	1,633	122	8.1%

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月 ～ 10年3月 (構成比)	10年4月 ～ 11年3月 (構成比)	増減額	増減率
ソフトウェア開発	43,376 (34.1%)	45,964 (34.6%)	2,587	6.0%
情報処理	36,083 (28.3%)	37,286 (28.1%)	1,202	3.3%
システム販売	47,856 (37.6%)	49,589 (37.3%)	1,732	3.6%
合計	127,317 (100%)	132,840 (100%)	5,523	4.3%

〔受注高〕 ソフトウェア開発	44,593	46,211	1,618	3.6%
〔受注残高〕 ソフトウェア開発	8,247	8,494	247	3.0%



# 売上高比較 -ソリューション別-

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月 ～ 10年3月 (構成比)	10年4月 ～ 11年3月 (構成比)	増減額	増減率
業務系 ソリューション	62,329 (49.0%)	68,807 (51.8%)	6,478	10.4%
ERP ソリューション	14,850 (11.7%)	14,725 (11.1%)	△125	△0.8%
プラットフォーム ソリューション	50,137 (39.3%)	49,306 (37.1%)	△830	△1.7%
合計	127,317 (100%)	132,840 (100%)	5,523	4.3%

## 【連結】

(単位:百万円)

10年4月～11年3月	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	32,638	18,337	17,831	68,807
ERPソリューション	10,847	683	3,194	14,725
プラットフォームソリューション	2,477	18,265	28,563	49,306
合計	45,964	37,286	49,589	132,840

09年4月～10年3月	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	30,185	17,130	15,013	62,329
ERPソリューション	10,419	629	3,801	14,850
プラットフォームソリューション	2,771	18,323	29,042	50,137
合計	43,376	36,083	47,856	127,317

差額	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	2,453	1,207	2,818	6,478
ERPソリューション	428	53	△606	△125
プラットフォームソリューション	△293	△58	△478	△830
合計	2,587	1,202	1,732	5,523

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月～10年3月		10年4月～11年3月		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
製造	34,742	27.3%	32,224	24.3%	△2,517	△7.2
流通	30,478	23.9%	33,288	25.1%	2,810	9.2
金融	15,997	12.6%	17,878	13.5%	1,881	11.8
銀行	6,700	5.3%	6,592	5.0%	△108	△1.6
証券	2,307	1.8%	1,843	1.4%	△464	△20.1
信販・リース	2,501	2.0%	4,554	3.4%	2,053	82.1
生保・損保	4,487	3.5%	4,888	3.7%	400	8.9
通信・運輸	19,326	15.2%	18,936	14.2%	△390	△2.0
電力・ガス	2,225	1.7%	2,049	1.5%	△176	△7.9
サービス他	24,545	19.3%	28,462	21.4%	3,916	16.0
合計	127,317	100%	132,840	100%	5,523	4.3

※一部データの修正があり、前年度の業種別売上金額に変更があります。



# 売上高分析 (対前年度主要増減要因 4~3月)

合計	+ 5 5 億円
増加要因	+ 9 6 億円
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 業務系ソリューション<ul style="list-style-type: none"><li>・ 流通業向け関連</li><li>・ 金融業向け関連</li></ul></li><li>➤ サービス業および学術・官公庁向け関連</li></ul>	+26億円 +26億円  +44億円
減少要因	△ 4 1 億円
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 製造業向け関連</li><li>➤ プラットフォームソリューション<ul style="list-style-type: none"><li>・ 流通業向け関連</li></ul></li><li>➤ 09年度 整理・撤退事業関連</li><li>➤ その他</li></ul>	△25億円  △5億円 △7億円 △4億円



# 売上総利益分析 (対前年度主要増減要因 4~3月)

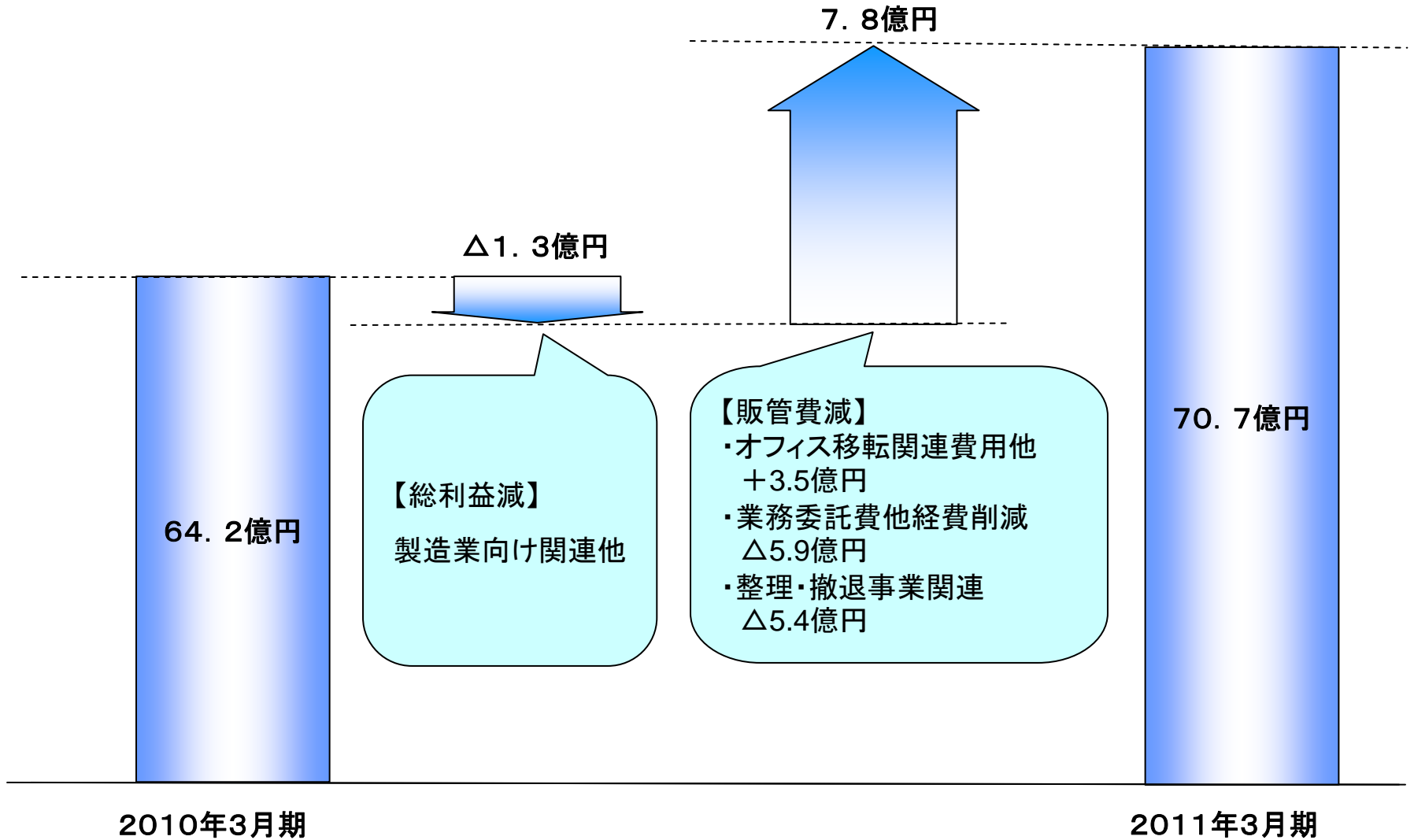
合計	△ 1. 3 億円
増加要因	+ 1 4. 6 億円
➤ 業務系ソリューション ・ 流通業向け関連 ・ 金融業向け関連	+ 1. 8 億円 + 5. 6 億円
➤ プラットフォームソリューション ・ 流通業向け関連	+ 4. 3 億円
➤ サービス業および学術・官公庁向け関連	+ 2. 9 億円
減少要因	△ 1 5. 9 億円
➤ 製造業向け関連	△ 1 3. 3 億円
➤ 09年度 整理・撤退事業関連	△ 2. 6 億円



# 販管費分析 (対前年度主要増減要因 4~3月)

合計	△7.8億円
増加要因	+3.5億円
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オフィス移転関連費用</li> <li>➤ その他(事業強化・人材力拡充関連)</li> </ul>	<p style="text-align: right;">+2.0億円</p> <p style="text-align: right;">+1.5億円</p>
減少要因	△11.3億円
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 新基幹系システム関連</li> <li>➤ 業務委託費・研究開発費</li> <li>➤ 09年度 整理・撤退事業関連</li> </ul>	<p style="text-align: right;">△1.1億円</p> <p style="text-align: right;">△4.8億円</p> <p style="text-align: right;">△5.4億円</p>

# 営業利益分析 (対前年度主要増減要因 4~3月)



# 社外売上高・営業利益(セグメント別)

(単位:百万円)

ソリューション分類	セグメント	概要	'10/4~'11/3 社外売上高 セグメント利益
業務系 ソリューション	流通・製造 ソリューション事業	流通・製造業を中心とした、業種固有のシステムニーズに対応したITサービスの提供を行なう事業	36,574
			2,022
ERP ソリューション	金融・ERP ソリューション事業	金融業固有のITニーズに応えるとともに、一般企業向けに、自社開発のパッケージソフトである「ProActive」他のERPシステムの提供を行なう事業	26,240
			708
プラットフォーム ソリューション	グローバル ソリューション事業	住友商事グループを含む、グローバルに事業を展開する顧客に対し、当社の海外ネットワークを活用したITサービスの提供を行なう事業	13,641
	プラットフォーム ソリューション事業	顧客の業務システムを支えるIT基盤の設計・開発から保守、また、データセンターを活用してのシステム運用まで、ITインフラの構築・運用サービスの提供を行なう事業	48,337
	その他	国内の地域拠点における一般企業向けのITサービスの提供を行なう事業等	3,248
<b>全社</b>			8,046
			237
			132,840
			7,076

※全社のセグメント利益7,076百万円には、各セグメントに配分していない全社費用等が△636百万円含まれています。



# 2012年3月期業績予想

【連結】

(単位:百万円)

	前期実績 11年3月期	今期予想 12年3月期	増減額	増減率
売上高	132,840	134,000	1,160	0.9%
売上総利益	29,048	30,200	1,152	4.0%
販管費	21,971	22,500	529	2.4%
営業利益	7,076	7,700	624	8.8%
経常利益	7,343	9,600	2,257	30.7%
当期純利益	3,803	5,300	1,497	39.4%

## 業績予想説明(売上高)

	11年3月期	12年3月期	増減額
売上高	1,328億円	1,340億円	12億円
売上総利益	290億円	302億円	12億円
販管費	219億円	225億円	6億円
営業利益	70億円	77億円	7億円

震災後の影響は限定的

今年度事業戦略の推進

- ・ グローバルビジネス推進
- ・ クラウドビジネス推進
- ・ BCP／DR関連ビジネスの展開

\*金額については億円未満を切り捨てしています。

## 業績予想説明(売上総利益)

	11年3月期	12年3月期	増減額
売上高	1,328億円	1,340億円	12億円
売上総利益	290億円	302億円	12億円
販管費	219億円	225億円	6億円
営業利益	70億円	77億円	7億円

- ・ 売上高増加に伴う売上総利益増加 +3億円
- ・ 売上総利益率改善 +9億円

\*金額については億円未満を切り捨てています。

## 業績予想説明(販管費)

	11年3月期	12年3月期	増減額
売上高	1,328億円	1,340億円	12億円
売上総利益	290億円	302億円	12億円
販管費	219億円	225億円	6億円
営業利益	70億円	77億円	7億円

- ・ グローバル人材育成ファンド +2億円
- ・ 事業強化関連費用（マーケティング費用等） +3億円
- ・ その他（健康増進施策等） +1億円

\*金額については億円未満を切り捨てています。

今後とも皆様のご支援  
ご鞭撻を賜りますよう  
よろしくお願い申し上げます。



ProActive	11.01.31	ERP パッケージ「ProActive E <sup>2</sup> 」仮想化ソフトウェア「VMware」に対応
Curl	11.01.26	Curl開発環境「Curl Development tools for Eclipse」最新版を提供開始
	11.02.22	日本自動車研究所、次世代電気自動車向けプロジェクト「車載蓄電池の性能評価手法の技術開発」のデータ収集・解析システムにリッチクライアントCurlを採用
ストレージ	11.02.01	Violin Memory社製 半導体ストレージシステム「V-3000シリーズ」の販売を開始
その他	11.02.24	株式会社CSK株式等に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
	11.02.24	住商情報システム株式会社と株式会社CSKの合併契約締結に関するお知らせ
	11.03.16	東北地方太平洋沖地震の地震被害に対する支援について
	11.04.12	被災地復興支援としての「Google Apps for Business」の無償提供について
	11.04.22	大学e ラーニング協議会、ニフティ、住商情報システム被災大学を支援するインターネットを活用した高度教育基盤の提供を開始